



令和2年2月21日
市岡中学校 保健室

新型コロナウイルス感染症について

連日ニュースで話題になっている新型コロナウイルスによる感染症ですが、感染経路がたどれない事例も出てきました。まだまだ分かっていないことの多い感染症ですが、今後の感染拡大を防ぐために国や大阪市で決まったことなどがありますのでお知らせします。

なお、これからもウイルスについて新たなことが判明したり、感染者の数が増減するなどして状況が変化することが予想されます。保健だより等でもお知らせしていきますが、皆さん自身もニュースをこまめにチェックして世の中の動きに関心を持ってみましょう。

大阪市で決まったこと

◎発熱などのかぜの症状があるときは、学校を休んで休養すること。（毎日、体温測定をして記録をすること）この場合、欠席日数には含まれません。

毎日の健康観察をしっかりと行いましょう。

今の時点で分かっている新型コロナウイルス感染症の症状は、

- 発熱やのどの痛みがある。
- 咳が長引くことが多い。（1週間前後）
- 強い体のだるさがある。

○感染（体にウイルスが入ること）から発症（ウイルスが増えて病気になること）までの潜伏期間は、1日から12、5日（多くは5から6日）といわれています。

登校前の健康観察をしっかりと行い、「少しいつもと違うな?」と思ったら必ず熱を測りましょう。

こんな症状には注意が必要です。

次のいずれかの症状があるときは、「大阪市 帰国者・接触者相談センター」(電話 06-6647-0641)に相談をしてから勧められた医療機関を受診しましょう。

○かぜの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。

（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

○強い体のだるさや息苦しさがある。

※糖尿病や心臓疾患などの基礎疾患がある人は、うえの症状が2日程度続く場合

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気が圧倒的に多い状況なので、インフルエンザ等の心配があるときは、普段どおりにかかりつけ医等に相談しましょう。